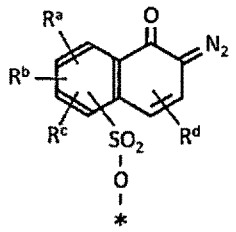
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年3月28日(2022.3.28)

【公開番号】特開2021-170132(P2021-170132A)
【公開日】令和3年10月28日(2021.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2021-052
【出願番号】特願2021-118321(P2021-118321)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/023(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/004(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/033(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/032(2006.01)
Ｈ０１Ｌ 51/50(2006.01)
Ｈ０５Ｂ 33/12(2006.01)
Ｈ０５Ｂ 33/22(2006.01)
Ｈ０１Ｌ 27/32(2006.01)
Ｈ０５Ｂ 33/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/023５０１
Ｇ０３Ｆ　7/004５０５
Ｇ０３Ｆ　7/033
Ｇ０３Ｆ　7/032５０１
Ｇ０３Ｆ　7/004５０１
Ｈ０５Ｂ 33/14　　Ａ
Ｈ０５Ｂ 33/12　　Ｂ
Ｈ０５Ｂ 33/22　　Ｚ
Ｈ０１Ｌ 27/32
Ｈ０５Ｂ 33/10

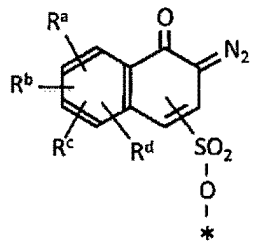
【手続補正書】
【提出日】令和4年3月17日(2022.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）バインダー樹脂、（Ｂ）フェノール性水酸基を３つ以上有するフェノール化合物（以下「３価以上のフェノール化合物」ということがある。）のキノンジアジド付加体、及び（Ｃ）黒色着色剤を含み、
（Ｂ）キノンジアジド付加体は、
（ｂ１）３価以上のフェノール化合物が有するフェノール性水酸基のうちの１つの水酸基が式（I）又は（II）で示される構造で置換されているキノンジアジド付加体、及び
（ｂ２）３価以上のフェノール化合物が有するフェノール性水酸基のうちの２つの水酸基が式（I）又は（II）で示される構造で置換されているキノンジアジド付加体を含み、
（ｂ１）及び（ｂ２）の合計が（Ｂ）全体の６０モル％以上であり、
（Ｂ）キノンジアジド付加体の総量１００質量部に対して、（Ａ）バインダー樹脂の含有量が１００～１０００質量部、及び（Ｃ）黒色着色剤の含有量が１５～７５０質量部であ

る、樹脂組成物。
【化１】



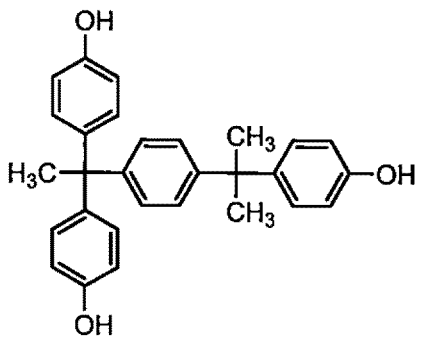
(I)

【化２】



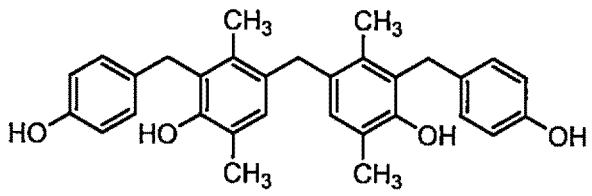
(II)

（Ｒａ～Ｒｄはそれぞれ独立に水素原子、炭素原子数１～１０のアルキル基又は炭素原子数１～１０のアルコキシ基を示し、＊は３価以上のフェノール化合物の芳香環との結合部を示す。）
【請求項２】
３価以上のフェノール化合物が芳香環を３つ以上有する、請求項１に記載の樹脂組成物。
【請求項３】
３価以上のフェノール化合物が、下記式（III）～（VI）で示される化合物から選択される少なくとも１つである、請求項１又は２に記載の樹脂組成物。
【化３】



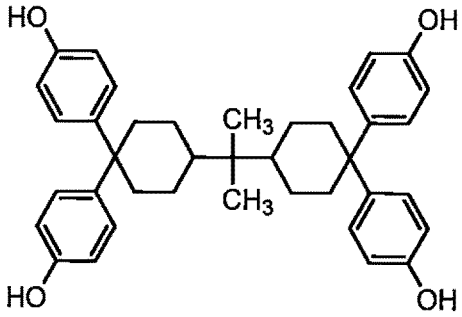
(III)

【化４】



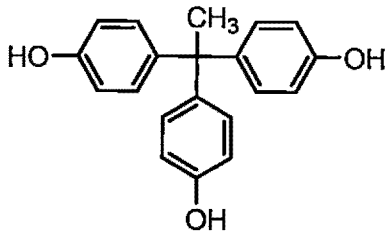
(IV)

【化５】



(V)

【化６】



(VI)

【請求項４】
（Ｃ）黒色着色剤が
（ｃ１）ソルベントブラック２７～４７のカラーインデックスで規定される黒色染料、及び
（ｃ２）チタンブラック
からなる群から選ばれた少なくとも１種を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の樹脂組成物。
【請求項５】
バインダー樹脂（Ａ）が、
（ａ１）アルカリ可溶性官能基を有する重合性単量体とその他の重合性単量体のアルカリ可溶性共重合体、及び（ａ２）エポキシ基とフェノール性水酸基を有するアルカリ可溶性樹脂、からなる群から選ばれた少なくとも１種を含有する、請求項１～４のいずれか一項に記載の樹脂組成物。
【請求項６】
請求項１～４のいずれか一項に記載の樹脂組成物の硬化物からなる有機ＥＬ素子の絶縁膜

。
【請求項７】
請求項１～４のいずれか一項に記載の樹脂組成物の硬化物からなる有機ＥＬ素子の隔壁。
【請求項８】
請求項１～４のいずれか一項に記載の樹脂組成物の硬化物を含む有機ＥＬ素子。
【請求項９】
（１）請求項１～５のいずれか一項に記載の樹脂組成物を溶媒に溶かし、これを基材に塗布する塗布工程、
（２）塗布された樹脂組成物中の溶媒を除去する乾燥工程、
（３）放射線をフォトマスク越しに照射する露光工程、
（４）アルカリ現像によりパターン形成する現像工程、及び
（５）１００～３５０℃の温度で加熱する加熱処理工程
を含む放射線リソグラフィー構造物の製造方法。